

植物遺伝資源探索導入調査報告書

通卷第20卷

平成15(2003)年度

平成16年11月

独立行政法人 農業生物資源研究所 編

編集

ジーンバンク
植物資源研究チーム
河瀬眞琴
江花薫子
福岡修一
宇賀優作

Edited by

Makoto KAWASE,
Kaworu EBANA,
Shuichi FUKUOKA and
Yusaku UGA
Plant Genetic Resources Laboratory
Genebank

まえがき

平成 13 年に農林水産省傘下の試験研究機関が独立行政法人化し、5 年計画の第三期ジーンバンク事業も 3 年目余が経過した。科学技術基本計画で国家方針として定められているように生物遺伝資源の重要性は先端的・独創的・基礎的な研究開発を進める上で不可欠であり、農業生物ジーンバンク事業はその中で重要な役割を担っている。

植物遺伝資源に関わる国際情勢も大きく変化している。平成 4 年 5 月にリオデジャネイロで「生物多様性に関する条約」が採択され翌年には発効し、世界全体で生物多様性の保全と持続的利用に取り組むことが定められた。遺伝資源についてもこの条約の枠組みの中で議論が重ねられ、「誰にでも利用が可能な人類共通の財産」という以前の考え方から原産国に主権があり責任をもって管理するという考え方に大きく方向転換した。平成 14 年 4 月にはオランダで第 6 回締約国会議が開催され、「遺伝資源へのアクセスとその利用から生じる利益の公正で公平な配分に関するボンガイドライン」が採択された。

このような国際的状況は遺伝資源の潜在的価値への評価という意味では前進であるが、実際の遺伝資源の探索や調査を困難にする要因ともなっている。現在、遺伝資源の海外探索には二国間での合意が必要で、遺伝資源の持ち出しや利用に厳しい制限を課す国も増えている。一方、FAO では「食料農業植物遺伝資源に関する国際条約」が平成 13 年 11 月にローマで採択され、植物遺伝資源のうちイネなど 35 作物 29 牧草種へのアクセスとその利用から得られる利益配分について定め、食料農業植物遺伝資源の利用と権利保護の枠組み作りが進められている。本条約の署名期間はすでに終了し、平成 16 年 6 月 29 日に発効し、現在、加盟に開かれ、植物遺伝資源の新しい国際的な枠組み形成に向けて動き出しつつある。農業生物ジーンバンクとしては、このような最近の国際情勢に十分配慮しながら積極的に国際協力を進め遺伝資源の収集・保存・特性評価・利用の促進に努力している。

平成 15 年度にはジーンバンク事業の植物遺伝資源として探索・収集および関連研究として、国内では愛知県・岐阜県においてエゴマ・ゴマ、岩手県においてツルマメ、沖縄県においてシバ属植物、青森県においてモモ、北海道においてクワ野生種、能登半島においてマメ類・雑穀類の探索・収集を実施した。また、海外においては事前調査に基づきロシア・アゼルバイジャンにおけるテンサイ、トルコにおける核果類、ベトナムにおけるチャ、パキスタンにおけるクワ、韓国においてカキの探索・収集を実施した。また次年度に向け中国新疆ウイグルにて事前調査を行った。さらにインドネシアでは 3 年間に渡ってカンショ現地共同調査が実施されたが、その成果も本報告書に収めた。海外遺伝資源の探索・収集は今後も困難が予想されるが、関係各位の意見、助言を取り入れて計画的に国内、海外遺伝資源の探索・調査を実施する予定であり、ご協力をお願いしたい。本報告書ではジーンバンク事業による探索収集調査の報告を第一義としているが、植物遺伝資源に関連した科学的な現地調査情報を集積することは事業の発展のためにも重要と考え、他予算による現地研究等の報告も併せて掲載した。

最後に、私たちの活動に指導と支援をしてくださった国内外の方々々に心から感謝申し上げます。とりわけ多くの情報と貴重な遺伝資源を分譲してくださった農家の皆様には深謝致します。

平成 16 年 10 月
農業生物資源研究所
ジーンバンク長
奥野 員敏

植物遺伝資源探索導入調査報告書（平成 15 年度）

目次

まえがき

奥野 員敏

I. 国内探索収集調査報告

1. 能登半島における作物在来種の調査と収集 1
小島 洋一朗・河瀬 眞琴
2. 東北地域における野生大豆（ツルマメ）の収集
ー岩手県内北上川および北部河川流域ー 11
河野 雄飛・高田 吉丈・湯本 節三
3. 岐阜県及び愛知県北部におけるエゴマ（*Perilla frutescens*）及び
ゴマ（*Sesamum indicum*）在来種の探索収集 19
安本 知子・徳宿 次男・横田 一郎
4. 四国地方で栽培・利用されるシソとエゴマの探索・収集 27
新田 みゆき・平島 信也・長峰 司
5. 南九州におけるサトウキビ野生種の探索収集 39
松岡 誠・佐藤 光徳・小笠原 篤
6. 北海道奥尻島におけるクワの探索収集 45
小山 朗夫・大山 誠・島田 利夫
7. 青森県におけるモモ在来品種の探索 53
土師 岳・八重垣 英明・山口 正己
8. 鳥取県におけるアズキ（*Vigna angularis*）栽培ー雑草ー野生種複合集団の収集
とモニタリング 61
加賀秋人・Ouk-Kyu HAN・平島信也・Paramanathen SARAVANKUMAR・
H. M. P. S. KUMARI・Miranda-Jonson GILDA・友岡 憲彦・
Duncan A. VAUGHAN

II. 海外探索収集調査報告

1. ラオスにおける *Vigna* (ササゲ) 属マメ類遺伝資源の調査
- 2003年11月15日～26日 77
友岡 憲彦・S. THADAVONG・C. BOUNPHANOUSAY・P. INTHAPANYA・
D. A. VAUGHAN・加賀 秋人
2. ロシアおよびアゼルバイジャンにおけるテンサイ遺伝資源の
共同調査収集 93
田口 和憲・久保 友彦・Valentin I. BURENIN・Leonid A. BURMISTROV・
Zeynal ACPAROV・Albert ALDELOV
3. トルコ共和国における核果類およびリンゴ遺伝資源の共同調査収集 103
薬師寺 博・石黒 亮・Erol Kucuk
4. 大韓民国におけるカキ遺伝資源の探索・調査 125
(2003年10月11日～10月25日)
山田 昌彦・板村 裕之・平 智
5. ベトナム北部山岳地域におけるチャ遺伝資源の共同探索収集 145
根角 厚司・吉田 克志・Le Van Duc・Nguyen Le Thang
6. パキスタン国におけるクワ遺伝資源の共同調査収集 163
小山 朗夫・Rashid Anwar・Shahid Nasim
7. ロシアにおける植物資源の探索収集の事前調査 173
長峰 司・久田 方彦
8. 中国新疆ウイグル自治区における植物資源の探索収集事前調査 177
長峰 司
9. インドネシアにおけるサツマイモ遺伝資源の共同調査
(2001年～2003年) 181
中谷 誠・田中 勝・熊谷 亨・田宮 誠司・中山 博貴・片山 健二・長峰 司・
Joko Restuono・Minantyorini・Ida Hanarida・M. Jusuf Yakub

III. 海外植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績 217

IV. 国内植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績 227

Contents

Preface

Kazutoshi OKUNO

I. Exploration and Field Research in Japan

1. Exploration and Collection of Crop Landraces at Noto Peninsula 1
Yoichiro KOJIMA and Makoto KAWASE

2. Collection of the Wild Soybean (*Glycine soja*) in the Tohoku District
-the Basin of the Kitakami River and Northern Rivers in Iwate
Prefecture- 11
Yuhi KONO, Yoshitake TAKADA and Setsuzo YUMOTO

3. Exploration for Collecting Local Varieties of *Perilla frutescens* and
Sesamum indicum in Gifu Prefecture and Northern Region of Aichi
Prefecture 19
Satoko YASUMOTO, Tsugio TOKUSHUKU and Ichiro YOKOTA

4. Exploration for Collecting Perilla Crops in Shikoku 27
Miyuki NITTA, Shinya HIRASHIMA and Tsukasa NAGAMINE

5. Exploration and Collection of Wild Species of Sugarcane in
Southern Kyushu 39
Makoto MATSUOKA, Mitsunori SATO and Atsushi OGASAWARA

6. Exploration and Collection of Mulberry (*Morus* spp.) in Okushiri
Island 45
Akio KOYAMA, Makoto OYAMA and Toshio SHIMADA

7. Exploration and Collection of Local Varieties of Peach in Aomori
Prefecture 53
Takashi HAJI, Hideaki YAEGAKI and Masami YAMAGUCHI

8. Collection and Monitoring of the Azuki bean(*Vigna angularis*) Complex
population in Tottori Prefecture, Japan 61
Akito KAGA, Ouk-Kyu HAN, Shinya HIRASHIMA,
Paramanathen SARAVANKUMAR, H. M. P. S. KUMARI,
Miranda-Jonson GILDA, Norihiko TOMOOKA and Duncan A. VAUGHAN

II. Exploration and Field Research in Foreign Countries

1. Field Survey of *Vigna* Genetic Resources in Laos,
November 15-26, 2003 77
Norihiro TOMOOKA, S. Thadavong, C. Bounphanousay, P. Inthapanya,
Duncan A. VAUGHAN and Akito KAGA

2. Collaborative Collection of *Beta* Genetic Resources in
Russia and Azerbaijan, 2003 93
Kazunori TAGUCHI, Tomohiko KUBO, Valentin I. BURENIN,
Leonid A. BURMISTROV, Zeynal ACPAROV, Albert ALDEROV

3. Collaborative Exploration and Collection for Stone Fruit and Apple
in Turkey 103
Hiroshi YAKUSHIJI, Makoto ISHIGURO and Erol Küçük

4. Surveys in Field and Research Organizations on Oriental Persimmon
Genetic Resources in Korea 125
Masahiko YAMADA, Hiroyuki ITAMURA and Satoshi TAIRA

5. Collaborative Exploration and Collection of Tea Genetic Resources
in the Northern Mountain Area of Vietnam 145
Atsushi NESUMI, Katsuyuki YOSHIDA, Le Van Duc and Nguyen Le Thang

6. Collaborative Exploration for Collecting Mulberry Genetic Resources
in Pakistan 163
Akio KOYAMA, Rashid Anwar and Shahid Nasim

7. Preliminary Survey of Exploration/Collection of Plant Genetic
Resources in Russia 173
Tsukasa NAGAMINE and Masahiko HISADA

8. Preliminary Survey of Exploration/Collection of Plant Genetic Resources
in Xinjiang Uygur Autonomous District of China 177
Tsukasa NAGAMINE

9. Joint Field Research of Sweetpotato Genetic Resources in Indonesia
(2001 ~ 2003) 181
Makoto NAKATANI, Masaru TANAKA, Toru KUMAGAI, Seiji TAMIYA,
Hiroki NAKAYAMA, Kenji KATAYAMA, Tsukasa NAGAMINE, Joko Restuono,
Minantyorini, Ida Hanarida and M. Jusuf Yakub

I . 国内探索収集調査報告
Exploration and Field Research in Japan

II. 海外探索収集調査報告
Exploration and Field Research in Foreign Countries

Ⅲ. 海外植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績

IV. 国内植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績

植物遺伝資源探索導入調査報告書

通巻第20号

刊行 独立行政法人 農業生物資源研究所
〒305-8602 茨城県つくば市観音台2-1-2
電話 029-838-7458

Published by National Institute of Agrobiological Sciences
Kannondai 2-1-2, Tsukuba, Ibaraki 305-8602
Japan

平成16年11月印刷
Printed in Nov., 2004

印刷 朝日印刷株式会社つくば支社
〒305-0046 つくば市東2-11-15

Annual Report on Exploration and Introduction of
Plant Genetic Resources

Vol . 20

November 2004

National Institute of Agrobiological Sciences